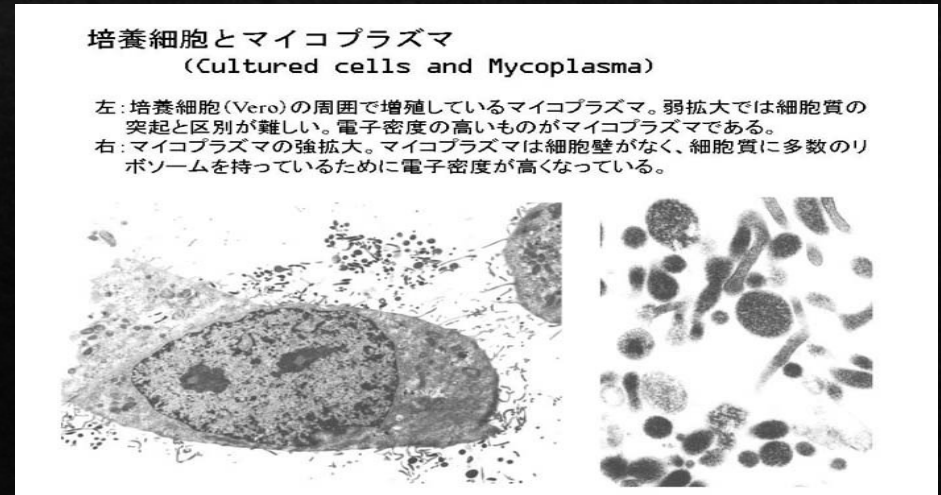


マイコプラズマ 検査



マイコプラズマ 経過



マイコプラズマ肺炎の特徴

病原体

・肺炎マイコプラズマ（培養には特殊な培地が必要で、菌の発育に1週間以上かかるため、血液中の抗体を調べます）

感染経路

・飛沫感染、接触感染

潜伏期間

・2~3週間（長いんです）


初発症状

・発熱、全身倦怠感、頭痛
・咳（乾いた咳が解熱後も3~4週間持続）

治療

・マクロライド系抗菌薬（エリスロマイシン、クラリスロマイシンなど）
→マクロライド系抗菌薬耐性株の増加が問題となっている

マイコプラズマ 症状



鼻水、
鼻づまり

ノドの痛み
乾いた咳
呼吸困難

37°C程度の
微熱から
39°C以上の高熱

マイコプラズマ肺炎の特徴

- 鼻水 鼻づまりの症状が少ない
- たんのない乾いたせき

マイコプラズマ

- 耳に入ると **中耳炎**
- 胃や腸に入ると **おう吐 下痢**

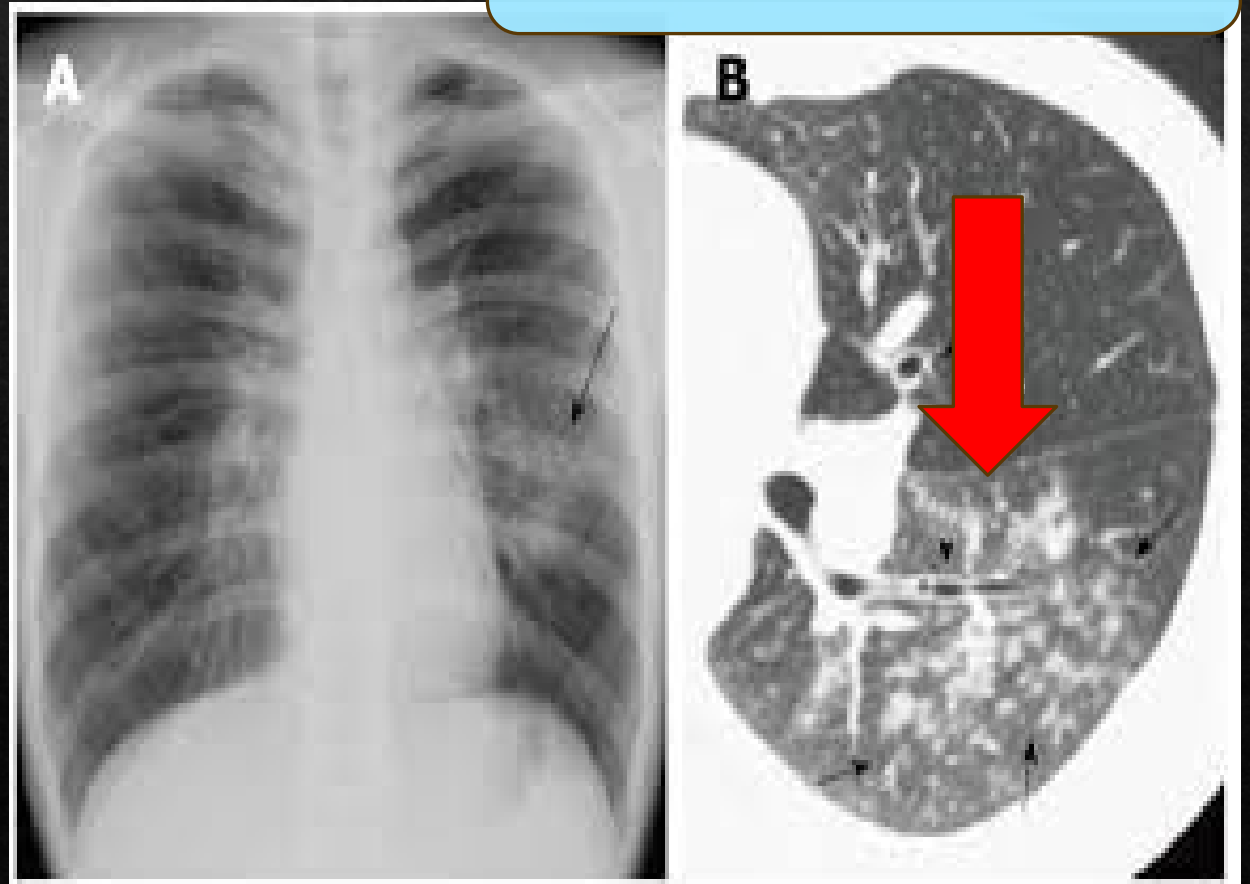
マイコプラズマ 肺炎

すりガラス状陰影

鑑別に用いる項目

1. 年齢60歳未満
2. 基礎疾患がない、あるいは軽微
3. 頑固な咳がある
4. 胸部聴診上所見が乏しい
5. 痰がない、あるいは、迅速診断法で原因菌が証明されない
6. 末梢血白血球数が $10,000/\text{mm}^3$ 未満である

鑑別基準	非定型肺炎疑い	細菌性肺炎疑い
1~5までの5項目中	3項目以上	2項目以下
1~6までの6項目中	4項目以上	3項目以下



マイコプラズマ 他の症状

マイコプラズマの症状

男女共通の症状

①のどの腫れ・痛み



男性の症状

- ①性器の軽い痛み・痛み
- ②排尿痛
- ③尿道からの膿

女性の症状

- ①おりものの増加
- ②性器周辺の痛み・痛み
- ③子宮頸部の炎症

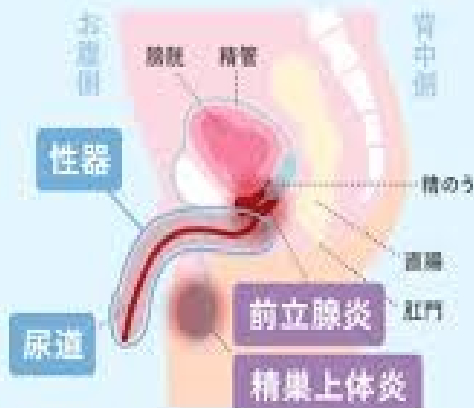
※画像はイメージです

マイコプラズマの症状(男性)

- ①性器に痒みや違和感がある
- ②排尿時に痛みが出る
- ③尿道から膿が出る

↓ 放置すると…

精巣上体炎・前立腺炎などの原因に



※画像はイメージです

マイコプラズマ(性病)の症状

男女共通

のどの腫れ・痛み

男性

- ・尿道の痛み、かゆみ
- ・排尿痛
- ・尿道から膿

女性

- ・おりものの増加
- ・性器の痛み、かゆみ
- ・子宮頸部の炎症

マイコプラズマ・ウレアプラズマとは



※マイコプラズマ肺炎の原因菌とは別です

※画像はイメージです

マイコプラズマ 治療

マイコプラズマ肺炎の治療

のみ薬
抗菌薬

第一選択

マクロライド系

エリスロマイシン クラリスロマイシン

第二選択

キノロン系
テトラサイクリン系

●重症化した場合入院

注射

テトラサイクリン系

呼吸困難 →

点滴

ステロイド薬

成人における マクロライド耐性マイコプラズマ肺炎 Take Home Message

- ・マイコプラズマのマクロライド耐性機序は、リボソーム50Sサブユニット中の23S rRNA配列の点変異によると考えられている。
- ・2011年の研究では、本邦で成人のマイコプラズマ肺炎の約35%にマクロライド耐性を認めた。
- ・マクロライド耐性マイコプラズマが増加した原因として、本邦におけるマクロライド系抗菌薬使用量の増加が一因の可能性がある。安易なマクロライド系抗菌薬使用は慎むべきである。
- ・臨床的には、AZMによる加療で、発熱が3日以上持続するマイコプラズマ肺炎においては、マクロライド耐性の可能性を考慮し、MINOもしくはキノロン系薬剤への変更を考慮すべきであると考えられる。